

第2回 双葉町復興まちづくり委員会

生活再建部会 議事録

■日時 : 平成24年11月26日(月) 部会 午後1時00分～午後2時45分
委員会 午後3時00分～午後4時30分

■場所 : 双葉町役場埼玉支所 4階家庭科室

■出席者 : 生活再建部会委員
事務局(双葉町企画課)

(参照: 第2回生活再建部会座席表)

1. 開会

【高野 重紘 部会長】

第2回の生活再建部会を開催いたします。部会長の高野です。議事進行に委員の皆様方のご協力
よろしく申し上げます。

2. 議事

(1) 「仮の町」に必要な機能について(審議)

【高野 重紘 部会長】

それでは、議事に入ります。本日の議題は、「仮の町に必要な機能について」です。本日、議
論いただきたい、「仮の町に必要な機能について」、事務局から資料の説明をお願いします。

【事務局 駒田 義誌】

それでは、お手元の資料を説明させていただきます。資料2をおめくりください。本日も議論
いただきたい点は、4つの点があります。仮の町にどのような町が望ましいのかという大きな論
点に対して、小さな論点を4つ掲げさせていただいています。集中型に整理するか、分散型に整
理するか、前回ご議論いただきましたけれども、そのいずれの案にあっても、仮の町に必要な機
能というのはどういうものが望ましいのかというのを本日はご議論お願いしたいと思います。

まず、1点目でありますけれども、仮の町の場所の選定に当たって、重視すべき条件にはどの
ようなものがあるかということです。例えば、空間放射線量であるとか、気候風土の類似性、交
通の利便性といったことが考えられますが、それらをどの程度考慮すべきかというのが1つあり
ます。その参考資料として、資料3ということで、最新の国、文部科学省から発表されている、
航空モニタリングの結果というものを付けておりますけれども、こちらを見ていただいて、例え
ば空間放射線量であれば、今現行、東日本の地域で、毎時、年間1mSvの所がどういう分布にな
っているのか、5mSvのところはどういう分布になっているのかということが見て取れるかと思
います。こういうようなところも参考にしながら、場所の選定に当たって重視すべき条件の中身
と程度といったものはどういったものが望ましいのかということについて、1つ目の論点として、
ご議論をお願いしたいと思います。

37 2つ目の論点としては、双葉町に存在した都市機能を振り返りまして、仮の町に最低限揃って
38 いなければいけない機能、また揃っていることが望ましい機能、それぞれどういうものがあるか
39 ということについて、ご議論いただきたいと思います。仮の町にはただ住宅だけがあっても、町
40 は成り立ちません。町には様々な機能が必要ですので、それらについて、どういったものが仮の
41 町、家のすぐ近くにないといけないのか、また周りの町と連携して整備していくものもあると思
42 いますが、まずはどういったものが、自分たちの住む町の近くにないといけないのかということ
43 について、皆さんのご意見を、ご議論をお願いしたいと思います。

44 資料4ということで、その際、約7000人の双葉町にどういった都市機能、施設があったのか
45 ということ、改めてデータで整理したものを、資料4として付けさせていただきます。資料4として
46 例え、教育であれば、幼稚園が1つ、小学校が2つ、中学校は1つ。あとは保育園が1つ、高
47 校が1つというのがありました。また、文教施設という面では、図書館、体育館、また公民館、
48 地区の集会施設、歴史民俗資料館というものがございました。次のページをめくっていただきま
49 すと、産業という面では、これは統計のデータから取ってるものですが、商店であれば、商店
50 が94、従業者数が327人。また、工業、工場であれば12、従業者数が229人というの、町に
51 存在しておりました。また、医療・福祉という面で見ますと、双葉町には、双葉厚生病院という
52 大きい病院が1つ、診療所は5つ、歯科は5つというものがございました。また、特別養護老人
53 ホームがあり、またデイサービス等を行うヘルスケアふたばという施設が社会福祉協議会で運
54 営されている施設があったということで、こういう施設がこれまで双葉町には存在していたわけ
55 です。こういった点も踏まえて、これから仮の町というものに整理していくに当たって、どうい
56 った施設、機能というものを整備しなければいけないのか。これはデータで整理できるものだけ
57 挙げてますが、それ以外にも町の寄りどころという意味では、神社、仏閣等そういった所もある
58 と思いますが、そういった点も含めて、町にどういった施設、機能がないといけないのかという
59 ことについて、幅広いご議論をお願いしたいと思います。

60 続いて、3点目になりますけども、仮の町における住環境はどのようなものがよいかと。やは
61 り仮の町ということを考えたときに、家の問題という、住まいの問題というのが1つの大きなポ
62 イントだと思います。そのイメージとして資料5ということで、災害公営住宅のイメージという
63 ものが国の資料でありますので、それを紹介をさせていただきます。

64 災害公営住宅と一口に言いますが、いろいろなタイプの住宅があります。単に5階建てのア
65 パートだけが公営住宅ではございません。いろいろなタイプの公営住宅があります。例えば、1
66 ページ目だと、山古志村で中越地震の後にできた、この辺は三井所先生がお詳しいところであり
67 ますけども、山古志村の種芋原住宅というのは、木造で、2戸が1つの建物になる、こういった
68 形の公営住宅が復興住宅として整備がされています。こういったタイプの公営住宅もござい
69 ます。

70 次に2ページをご覧くださいと、これは阪神・淡路大震災後にできた住宅ですけども、これは、
71 お年寄り等を対象としてコレクティブハウジングという、どういうものかということ、右下を見て
72 いただければ、図面が書いてあるのを見ていただければ分かるのですが、それぞれの住戸は独立
73 して、27戸の住戸を整理しつつ、皆さんが集まれる食堂であるとか、台所であるとか、洗濯コ
74 ーナーであるとか、こういう皆さんが集まれる場というものを建物の中に整理をして、共同で生
活ができるような、住宅というものも、阪神・淡路大震災後にはつくられております。居住空間

75 は1人1人きちっとした世帯で確保しながら、皆さんで集まれる場も確保するというタイプの住
76 宅です。

77 3ページ目になりますけども、これは公営住宅を整備する際に、1階を地域の福祉交流拠点と
78 して整備してNPOの方等に運営をしていただくという形の整備をしている様な例もあります。
79 左側の上がマンションタイプの家になりますけども、上が住宅で下にデイサービスとか、介護の
80 相談所であるとか、子育て支援をする場であるとか、障害者が働く喫茶、軽食サービス事業等を
81 やる場といったもの。こういったものを併設するような整備というのも行われております。

82 また、4ページ目になりますけども、団地形式にあっても、こういった4階建ての規模であつ
83 てもバリアフリーといったものを考慮しながら整備をしていくというような例もございます。

84 あとは5ページ目、これは東日本大震災で初めてできた公営住宅になりますけども、相馬で長
85 屋型の共同住宅ということで、下のほうに図面が載ってますけども、1人1人の世帯の場所は確
86 保しつつ、共同浴室とか共助スペース、ボランティアルームというのを併設しながら団らん場、
87 共助のスペースというのを確保したような、そういった形で被災した高齢者の方の孤立状態を防
88 ぐような住宅というものを、これは相馬でつくられているものになりますけども、こういったタ
89 イプも公営住宅として整備がされております。

90 あとは6ページ目ご覧いただきたいと思うのですが、先程と若干重複するんですが、今はその
91 意味では公営住宅と一口に言いますが、単に建物を建てるだけではなくて、高齢者の生活支援
92 施設と一緒に整備したりであるとか、もしくはこの2.にあります、NPO等の方々を交えなが
93 らサービス付きの住宅を支援、整備するとか、こういった取組もされていますので、こういった
94 ものも参考にしながら家の整備というものを考えていかなければいけないということで、論点の
95 ほうに戻りますけども、こういった点も踏まえながら住環境、こういったものが望ましいのかと
96 いうことについて、ご議論いただきたいと思えます。

97 続いて4つ目の論点になりますけども、仮の町において生業を再開して雇用を創出していくた
98 めにどのような支援が必要か、ということで、資料6と言うことで、双葉町にありました、皆さ
99 んどういった産業に就かれていたのかということを変更して統計で整理したものを資料6として載
100 せております。3,345人の就業者のうち、一次産業、ほとんどが農業ですけども、農業が約8%。
101 建設業、製造業という、二次産業に従事されていた方が約3割。残り6割の方は三次産業、ほと
102 んどがサービス業、あとは電気、ガス。電気というのは大きな1つの特徴かもしれませんが、
103 そういったサービス業に従事されている人が約6割というのが、双葉町の働いていらっしゃる
104 方の構成になります。農業につきましては、農業者数が449人おられましたけども、専業の方が
105 60人、あとは一種兼業、これは主たる収入が農業から得られてる方が37人、残りが二種兼業と
106 いう形で、農業以外の収入が主たる収入の方が352人という構成でございました。続いて、今現
107 状どうなっているのかというのが、資料7ということで、これは産業振興課の山下委員のところ
108 でまとめていただいた資料になりますけれども、商工会の調査によりますと、震災前に197の事
109 業者があつて、震災後に廃業等で脱会された方が、あと新規が1つありますけども、増減して今
110 177が双葉町商工会に所属しています。そのうち事業を再開された方、県内で49、県外で9、全
111 部で58という形になってます。県内につきましては、多くがいわきという形になっています。
112 下のほうに見ていただきますと、営農の状況につきましては、先程、言ったように、農業をやっ

113 てらっしゃる方は449人おられましたけれども、被災後、営農を再開された方は8戸という形に
114 なってまして、多くが埼玉県が5人、千葉県が1人、あといわき市で2人と、いう構成になって
115 おります。こういった現状にあって、さらに仮の町を整備したとしても、この生業、産業という
116 ことで、雇用を生み出していないといけませんので、そういった点を考えたときに、どういっ
117 た支援が必要なのかということについて、ご議論いただきたいと思います。

118 最後、資料8というのは、7000人の復興会議、これまで7会場で行っていただきました意見で、
119 今申しあげましたような論点に関わる部分でどういった意見があるのか、というところを整理し
120 たものになります。住む場所に関して言いますと、やっぱり空間放射線量を気にされておられる
121 意見、また気候風土が近い所がいいという意見、また住環境の面では、バリアフリーとか機能面、
122 騒音がないようにしてほしいとか。あとはどうしても公営住宅を整備するとき、世帯とか条件
123 がついてまいりますので、そういったところでやっぱり機械的な仕様はやめてほしいというよう
124 なご意見。また生活の利便性というような意味では医療機関が近くにあたり、必要なものを整備
125 してほしい。また、銀行、病院等の施設がほしいというご意見。また、やはり安全安心という意
126 味で、子どもが安全安心で暮らせる町。家族がバラバラになっての生活はつらく、安心して生活
127 できる住宅といったご意見がでております。

128 また、仕事・産業という面でも仮の町での仕事が大事だという話。また若者が仕事ができる環
129 境が必要だというご意見。また、中高年に対する支援というのがご意見としてあります。また働
130 きやすい環境として子育て、子どもを預かってくれる場所。あとはやはり子どもにとって親の働
131 く場が見れるような、近い場所で仕事につける事が必要だというご意見。また事業再開、新規事
132 業の育成ということでは、やはり町の人が居るところで事業を再開したい。また、仮の町でも農
133 業がしたい、自分の店をもう一度取り戻したい、事業再開を目指す人に仮設の工場や事務所を提
134 供すべきだという意見。また、新たな産業が必要だと言うこと。また新しいブランドをつくって
135 いくということというご意見も出ております。

136 あと教育につきましては、学校の再開、存続を求める意見ということで、やっぱり学校、子ど
137 もが集約できる学校をつくってほしい、また教育を中心としたまちづくりという意味では、特色
138 ある一貫教育を目指していくべきだというご意見。また、基盤になる小学校が無いと町が続いて
139 いかない、また、教育を中心としたまちづくりを目指していくべきだというご意見。また、医療・
140 社会福祉という面では、病院が近くにある環境、設備が整った病院がいい、充実した医療を増や
141 してほしい、お年寄りの福祉サービスが充実した町が良い。また、せんだんのような老人ホーム、
142 デイサービス、ショートステイなどが必要だというご意見。また、障害者へのサポートもしてほ
143 しいというようなご意見。それ以外にも後ろにつけておりますけれども、こういったご意見も町
144 民の間からは出ております。

145 こういった点も踏まえまして今、申しあげました4点、場所の選定に当たって重視すべき条件、
146 また、双葉町にあることが望ましい都市機能、仮の町における住環境、生業・雇用の創出、とい
147 うところについて本日はご議論をお願いしたいと思います。説明は以上です。

148 **【高野 重紘 部会長】**

149 説明が終わりました。それでは、意見交換に移ります。本日の論点は4つありますが、いずれ
150 の論点からでも結構ですので、ご意見をお願いしたいと思います。

151 【三井所 清典 委員】

152 意見の前によろしいですか。駒田課長から、資料8のご説明いただいた例示ということで拾い
153 上げられているのは、後ろのたくさん、7000人の復興会議で出ているご意見の中で、アンダー
154 ラインが引いてあるのがいくつかあって、それを前の方へ持ってこられたということですよ。ね。
155 ですから、たくさんある意見の中で拾われたものを前の方に、代表的な意見という見方で拾われ
156 ているということですよ。ですから、たくさんいろいろな意見が出ているもののいくつかだと
157 ご理解いただいたほうがいいかなというふうに思います。

158 【高野 重紘 部会長】

159 どなたか意見ございませんか。

160 【藤田 博司 委員】

161 藤田です。こちらの資料にもありますとおり、住む場所に関する意見ということなんですけれ
162 ども、やはり放射線量の問題と、あとは気候の問題。これがやはり1番大きな問題だと思うん
163 です。それで、その他にいろいろと交通機関とか、あるいは就職先とか仕事を持つとか、そういう
164 ものもありますけども、大きく選ぶ1番最初のポイントは、この2つで私はいんじゃないかと
165 思います。あとは、集中型あるいは分散型、いろいろありますけども、どちらにしましても、い
166 かにその所に住んでくれる町民が多くなるのかという、そういう観点から、私は前から分散型
167 と言っていますけども、いろいろな講演とかなにか聞いてみると、やはり相当な期間の仮の町だ
168 ったら、仮の町に住まざるを得ないというような内容でありますので、やはりそこら辺を考
169 えて、きちんとした場所の選定というのが大事になってくるのかなと、こんなふうに思います。以上
170 す。

171 【中村 希雄 委員】

172 中村です。確認というか、私も昨日調べて分かったんですが、11月7日に、福島県の佐藤知
173 事から、全国の知事に対して、「福島県からの避難者受け入れは断ってくれ

174 」という通達が出てるんですね。私も知らないで調べたら載ってんですよ。私、今つくばにい
175 るんですが、先日、つくば市役所総務課の方に言われて、つくばの交流センターで、「これが困
176 ってる」、「仮設にいるつらい人はつくばに来ることができんだよ」なんて言ったら、その方に、
177 諭されるようにその書類を見せられて、佐藤知事からの「12月28日で打ち切りにしてくれ」と、
178 「1月の中旬まではいいんだけど、それ以降は一切受け入れは断ってくれ」という要望が行っ
179 てるんですね。これはなんか間違いないようなんです、私、昨日調べたんですけども。そうだと
180 するならば、但し書きがありまして、現在住んでる人はそのままずっと居れるんですが、新規に
181 は受け入れてくれるなという通達が行ってるんですね。そうした場合に、県外というのはもう望
182 むことができないような感じになるんですね。福島県内は移動してもいいけど、福島県からは出
183 ちゃいけないというようなことになると思うんですよ。そうなった場合に、なんで佐藤知事があ
184 んなこと言ったのか、福島県のことだけ考えて言ったのか、腹の内分らないんですが。本来な
185 ら、我々、日本人全員の問題だから、福島やそういうことにこだわる必要は無く、最後の判断は
186 各人に任せられるもんだと思うんですよ。それをなぜ、福島県からは出るなという通達が行った
187 のか、この本質、本当のところを理解しないと、この分散型の県外というのは、今居る人たちで
188 しか住むことができなくなると思うんですよ。その辺がどうなのかなと思って。我々にはそうい

189 う通知、見てますか皆さん。ご存じですか。こういうの出てますよね。みんな大半知らないんじ
190 やないかと思うんですよ。

191 【井上 一芳 委員】

192 井上です。お世話になります。ただ今の質問の件ですが、文書そのものは、最初に出たのは昨
193 年 11 月か 12 月に厚労省から一旦出たんだそうです。今回 2 度目で、まだ 59,000 人ほど、福島
194 県民が避難してるわけですけども、それについて、60,000 人から 59,000 人に減ったんで、こ
195 の後、県外への自主避難等について、減るであろうということから、厚労省の指導を受けて、福
196 島県としても、県外への新たな移動について、県としての費用負担をするものについては、12
197 月 28 日の受付をもって終了するという文書が出ました。これについては私どもが非常に反対を
198 しているんですが、文書としては出てございます。現実には、受け入れる県のほうが、その文書
199 を基にして受け入れてないような状況になってございます。現在も、茨城県は受け入れてくれて
200 るんですが、埼玉県は既に受け入れてございません。今データ無いんですが、各都道府県はこれ
201 までも福島県外から出られた方については受け入れてございました。ただ、今の福島県内の状況
202 見て、避難を県外にしたいという方が、今月いっぱい大丈夫なんだろうかという疑問点は我々
203 も福島県のほうにぶつけてございます。状況はそんな状況です。事実であります。今、つくばの
204 ほうに移動できないということ自体、今、埼玉の借上げに入っている方は、つくばで受け入れて
205 くれません。これは、埼玉県で既に、借上げを借りてるもんですから、仮設住宅等を借りてるも
206 んですから、移動したいと言っても受け入れてもらえない、という状況になっております。ただ
207 1 つ受け入れてくれるのは、この騎西の避難所に住んでいる方については、これまでどおり受け
208 入れてもらうべく、そしてまた 1 月以降も受け入れてもらうように、県には既にお願ひしてござ
209 います。県もそれについては理解しました。「了解しました」までは言っていないんですが、厚労
210 省が反対してるものですから。県としてはその努力は必ずします、という約束事してくれてま
211 す。そういう状況です。

212 【中村 希雄 委員】

213 今の井上委員のお話で分かりましたけども、つくば市は受け入れられてるってお話でしたが、
214 実際はもう、通知を我々受け取ってるんですよ、回覧板で「28 日付けで受け入れちゃいけない
215 んだよ」と教えられました。

216 【鵜沼 友恵 委員】

217 鵜沼です、お世話になります。今の中村委員のご意見の中で、私も民間の方々の動きというの
218 と、現状まだ直近ではないんですが、数ヶ月前私がいろいろ調べた中での現状を申し上げますと、
219 今回の 12 月いっぱいの借上げが新規受付終了というのは、今、民間団体の方が抗議のために署
220 名活動をしています。その数については大分集まっている模様です。借上げについて、私もそう
221 なんですが、状況が避難先変わったもので、アパートの変更をしたいということをお願いしまし
222 したが、当然ですが法律の関係上、1 度借上げなり仮設に入った方は避難終了となります。なので、
223 引越しかか転居の場合はそういう受付はされません。私の知り合いでいいますと、福島県内で、
224 休業で自宅待機という状況では民間借上げアパートに居たんですが、結局失業という形になり、
225 いつまでも失業というわけにもいかないの、子どもの心配もあったので、これをきっかけに県
226 外に行こうという方は、受付がされませんでした。福島県内で事情も分からずに居て、やっぱり

227 ここでは心配だから県外に行きたいと、関西地方にもお願いしましたが、それもダメでした。私
228 は同じ市内ですが、加須市内で違う物件を借上げお願いしたいという形でしたがダメでした。
229 他の方も事情も分からないまま、3世帯10人家族で6畳2間に借りてしまって、これではとて
230 もじゃないけど生活が大変なので引っ越しをしたいという方も却下されました。そういうのは全
231 て法律で決まっているからということで、よほどの事情が無い限りは、基本的にできないという
232 形なので、それは県なり厚生省なりに言っていたほうがいいのではないかと。今回の借上げは、
233 今のところまだ来年度の決定は無いですが、埼玉県に関しては、3月いっぱい借上げの家賃立
234 替は終了するのではないかと、というふうに言われています。あとは、私、借上げ変更に関して、
235 今後の借上げ状況どうするかということで、知り合いの方を通じて厚生省の担当の方に聞いて
236 いただいたんですが、「あなたたちは原発の賠償でもらえるでしょう」と。「だったら、賠償で請
237 求してください」と。ところが私たちにとっては、賠償をもらうまでと、家賃支払う間というの
238 は、もらえるまで数ヵ月単位でタイムラグがあるんですね。その間持たせられない人はどうする
239 んですかという話をすると、「どうにもできませんね」という回答でした。以上です。

240 【井上 一芳 委員】

241 今、鶴沼委員がおっしゃられたとおりの状況になっているようなんですが、これはもう1つ最
242 後に賠償が伴います。鶴沼委員がおっしゃられたのは、今、国の制度をもって家賃の支払いを埼
243 玉県なら埼玉県で支払って、福島県に請求し、それを国に請求するような状況でございます。そ
244 れで今、県外に居ても費用を出さずに居られるというような状況なんですが、例えば、今、埼玉
245 県の加須からもう1つの加須の民間のアパートに入ろうとすると、入ることは可能ですが家賃の
246 支払いが出てきます。家賃の支払いはどうするかというと、東電のほうに賠償請求することで支
247 払ってくれます。その意味で、鶴沼委員が後から言われた、タイムラグがあつてどうしようもな
248 いという言葉は、そういうことでございます。ですから今回、県内に居て、県外に絶対移れない
249 というわけではなくて、今、私が話したように、東京電力が賠償で移った先の家賃分の支払いは
250 しますということになっております。立替払いのルールを厚生労働省がいつまでも国、県でやる
251 のではなくて、東電が支払うというふうにしていきたいということで、今回の見直しはあつたよ
252 うです。

253 【高野 重紘 部会長】

254 この都市機能についての話も、そういう話も皆さんの意見としてお願いしたいと思います。何
255 か話があればお願いしたいと。

256 【三井所 清典 委員】

257 都市機能については、駒田課長からご説明があつた、これまでの町にあつた都市機能を、今度
258 の仮の町で、どのように整備していくかということになると思うんですけど。だんだん成長して
259 いく、発展していく施設づくりというのを考えておいたほうがいいかなというふうに気がついた
260 という感じでは思っております。それはどういうことかということ、例えば、7000人住んでる町
261 として必要だった、あるいは可能だった施設というのが、何人になるか分かんないというときに、
262 どういうふうに想定するかという話になるんですけど、やっぱり欲しいものはみんな欲しい、必
263 要な機能は必要な機能として全部要るわけですから、生活上必要な機能として全部要るわけ
264 から、そういうものを最初からそれぞれが充実した施設として考えていくということではなくて、

265 例えば、郵便局も保育所も八百屋さんも銀行も、便利に近いところにまとまって、いわば1つ屋
266 根の大きな中で、いろいろな施設が一緒に入っていて、だんだん町が充実、発展していくときに
267 独立して必要なものをつくっていくというふうなことがあるかなと思ったことが1つです。それ
268 から、住宅と一緒にあったほうが良いというような施設が、先程の住宅の例にもありました。元
269 気な人が住んでる所に一緒に高齢者とか、施設があるとか、人との普段のつきあいも非常に進む
270 ような進め方があるんじゃないかなというふうに思い、そういう施設のあり方もあるんじゃない
271 かなと。必要なものとはにかく必要なんだけど、それを完成した形で初めからつくるとい
272 ではなくて、必要な機能は必ず必要なんだけど、将来の発展を意識しながら、当面必要な規模で
273 していくというような考え方を、少し長期に考えていけば、いろいろなことが言えるんじ
274 ないかというふうに思うんですね。完全に充実したものがはじめから欲しいと言うと、それは
275 できない可能性があるんですけど、そういうことが無いようにするための話としてあるんじゃない
276 かと思います。それから、7000人の復興会議でも出てますように、工場のような仕事場が、作
277 業場を共同で持つようなこととか、事務所を共同で持つという仕事を、スタートの時にはそう
278 いうようなやり方もあるんじゃないかと思ったんですね。そういうことのほうが、人が元気よく働
279 いているとか、いつも出会えるとか、様子が聞けるということも含めて、メリットもありそう
280 気がして、共同の施設をつくって、駐車場なんかも管理できるようにして、仮の町の中で充実
281 していけばいいかなと思ってます。仮の町という言葉も今、皆さんの想定いろいろあるかもしれま
282 せんけど、そういうことで仮の町という言葉を使いながらなんですが、少し時間をかけて、充実
283 していくことをはじめに、スタートの時には、考えていくほうが、無理のない話のような気がし
284 ています。

285 【高野 重紘 部会長】

286 私も仮の町の機能でも、5年先の仮の町と、10年、20年、30年先の形態の仮の町の考え方、
287 これはまた別だと思うんですが、実際に、どのくらいで帰れるかということがはっきりしないと、
288 なかなか仮の町の機能についても分散型にしても集中型にしても、集中型にすれば、どこまで機
289 能を持ってくるのかという問題で、例えば学校、あとはみんなのための体育館とか。だから、問
290 題は、短期的なものか、長期的なものかによって、機能も変わるんじゃないかと思うんですが、
291 皆さんの意見もお願いしたいんです。

292 【鶴沼 友恵 委員】

293 私も高野部会長と全く同じ考えで、5年でいいものか、30年でいいものか、とりあえず私個人
294 的には100年は無理だなと思ってんですが。それを孫、曾孫の世代に「帰りたい」と言われれ
295 ば帰ればいいのかというくらいに思ってますが。とりあえず100年先というのはわからないこ
296 とですので、とりあえず、何年単位にするのかというのが、町の構造物、建築物を建てるうえ
297 でも、耐用、耐性を考えなくちゃいけないので必要かと思います。あとは場所ですよ。場所を県
298 内にするのか、県外にするのか、会津にするのか、いわきにするのかでまた、現状、人の集まり
299 方もまったく変わってきます。あと、生活再建自体を、どの程度とするのか、とりあえず、商店
300 をやってる方は仮の店舗をもって、ある程度商売が成り立つという程度でいいのか、完全に独立
301 した店舗を持つてからはじめて生活再建というのか。例えば、農家の方だったら、どの程度が
302 できればいいのか。個人的にいうと、双葉では、多くの方が家庭菜園をされていたので、規模は

303 小さくても家庭菜園をしたいとか、双葉では自分の家でバーベキューやってたとか、なんか趣味
304 のものが、こういうのができたことが、できないのがつらい、という方もいらっしゃると思いますので、
305 ある程度この辺までできるようなラインというのがざっくりとでもあれば、皆さん考えやすいと
306 思います。

307 【高野 重紘 部会長】

308 その他に意見ございませんか。

309 【大橋 庸一 委員】

310 大橋と申します。仮の町構想の以前に、どんどん時間が過ぎまして、自立したり、仕事関係で
311 その場所に定着したりする傾向がかなり強くなっている気がすると思うんです。将来は、人口は
312 減少するというのは必至だと思うんです。ですから、人口が減って行って、せっかくつくった建
313 物が空き部屋になるようなリスクも考えながら、人口が減ってもいろいろ、先程説明もあつたけ
314 ど、支援、介護ケア等施設とか、並行して無駄のないような、そういう仮の町というのを、当面
315 はそういうことをみんなで共有して更に議論進めたほうがいいかなと思います。以上です。

316 【高野 重紘 部会長】

317 その他、どなたか意見ございますか。

318 【中村 希雄 委員】

319 中村です。いつまで住むなんて言っていると、誰もいつから帰れると言える人、総理大臣も言え
320 ないし、せめて30年、50年は続くつもりでこういう話しないと、何にもできないと思う、進ま
321 ないと思うんです。すぐいなくなる町、更地になるとこなんか誰も、商売もないんでね。せめて
322 ユートピアに近づくようにするには、やはり、私日本人には、鎮守の森が無いと寂しいんですよ
323 ね。古い木が無くても、そこに鳥居が1つくらいあって、それがあれば、初發神社で毎年ダルマ
324 市にやった神楽祭り、あるいはせんだん太鼓、いろいろな行事ができるわけですよ。場所のこ
325 とまでまだ言えないんですが、そうして、アメリカなんか何十年も前から、子どもが大きくなっ
326 たら年寄りだけでできあがった町がありますよね。双葉の場合だと、そういうことは無理なんで
327 すけども。先程この例題の写真にありましたけども。社会福祉が整った所、こういうものがあれ
328 ば、お年寄りもいれば、社協の方々、福祉の方々、労働も確保できるし、一般の仕事は無いま
329 ても、まず、親とか、年配の人がそこにいれば、盆暮れには寄ってくる若者もいるし、最初から若
330 者は来るなんていうことは到底思えないんで。寄ってくるようになると思うんですよ、そういう
331 抛り所があれば。だからやっぱり、どんなきれいな町をやっても、私はやっぱり鎮守の森が無い
332 と寂しいんだよね。あれは日本人の心の抛り所だから。行政上、国では、政教分離なんて言っ
333 てるけども、やっぱり今日の朝日新聞にも載ってましたけども、それだったら県で、応援して、神
334 社に応援したりね。今福島でもあちこち、宮司も禰宜も亡くなった、草野神社なんか両方亡くな
335 ってますよね、未だに行方不明で遺体が上がってないんですが。他の宮司は何やってるかとい
336 うと、みんな、アルバイトやってるんですよ。浪江神社の宮司は、土日には結婚式場の祝詞を
337 あげたり、あるいは、私のとこの正一稻荷神社の宮司は、中伊豆で、現在は試験を受けて町の職
338 員の正社員になって、土日は正社員のため休みなんで、やっぱり近くの神社の結婚式とかお手伝
339 いやってるらしいんですよ。ですからああいう神職に携わる人、ご住職も同じなんですよ。お寺
340 が潰れたご住職は、あちこち歩いてるんですよ、転々と、来るたびに。お経あげるために。で

341 すから、そういう人たちのことも考えてやれば、必然的にみんな集まって来るようになると思う
342 んですよ。若い人は遅れてきても、いずれ 40 年もすれば定年になるわけですから。やっぱり、
343 イメージがずれてるかも分らないんですが、鎮守の森みたいなものがあればいいなど。私は他の
344 ものは無くても、これだけでもいいと思うんです。農家、つくばでは、かなりの畑は作ってるん
345 です、もう食べきれないくらい。ですから、そういう所に年配の人が来るわけですから、双葉で
346 新鮮野菜売ってた「寄ってみっせ」をやれば、自給自足で野菜くらいはみんなでカバーできるわ
347 けだし、十分な生活、賠償金以外でも、成り立つんじゃないかと思うんですよ。その辺から生活
348 を始めていかない限り、最初から学校だなんだという前進できないと思うんですよ。どっから
349 進めていくかをまずやらないと。取りとめが無いんですが、そういう気持ちです。

350 【高野 重紘 部会長】

351 教育者のほうからも、意見をお聞きしたいんですが。

352 【末永 幸弘 委員】

353 双葉南小学校、末永です。前は部会のほうに出れませんでした。今日、初めてなんですが、
354 前回の議事読ませていただいて、まったく同感、同じ校長の立場でいろいろ意見言っていた
355 たとおりでなんですが、今お話伺って、仮の町に立派な学校つくって、「さあ、どうぞおいでくだ
356 さい」というような状況ではない。とにかく、他の町村、今、立ち上げてる学校が半分くらいあ
357 るわけですが、その立ち上げの様子をいろいろお聞きしますと、とにかく子どもを集めることに
358 必至になってるわけですね。川内でも、戻ったわけですが、16 人くらいしかいない。浪江にし
359 ても、あれだけの学校があって、浪江小だけで 20 人、富岡も 30 人。そんな感じです。檜葉、広
360 野はもうかなりの人数集まってますが。とにかく、これだけ 1 年 8 ヶ月も過ぎて、子どもたちは
361 避難先に非常に慣れてしまった。おそらくもうそこで卒業という思いでいると思うんですね。新
362 たに入ってくる子どもたちを確保しなければなかなか難しい状況だという。とにかく時間との勝
363 負だ。仮の町をつくってそこに立派な学校をつくって、「さあ、どうぞ」という状況ではありま
364 せん。今の時期で、ちょうど職員の人事が始まってます。双葉郡の地元の教員、これが昨年だ
365 いふ他地区に流出しました。いわき、会津。ご存知のように先生方は、学校が無くなって兼務とい
366 う形で、私たちは県教職員、負担教職員ですので、県のほうからお給料をいただいているわけ
367 ですね。それで服務監督権は各市町村教育委員会、教育長にあるわけですが、本当に、どこの
368 県に行ってもやれるという条件もあるわけで。様子を見てたんですが、学校がきちんと立ち上
369 らないので、「もうしょうがないや」という気持ちになってる教職員も今、非常に多い。昨年は
370 50 人くらいの地元の教員が他に出たと思います。正確な数字は分かりませんが。そんな状況で、
371 今年も先生方も人事の今時期に入って来てまして、どうだということを聞き、様子を見てい
372 るんですが、どうも学校立ち上がらないようですし、「もう覚悟を決めました」、「定住先を決めま
373 した」「生活根拠地として他町村に行きます」ということで、1 回出てしまった教職員をもう 1
374 回戻すというのは大変難しいと思います。ですので、とにかく 26 年度とか 27 年度とか、立派な
375 こと、先のこと言っていないで、とにかく、学校を立ち上げて、「少ない人数でも来年度やるぞ」
376 というメッセージを全国に流さないといけない。双葉から避難している方々は様子を見ているわ
377 けで、「今年も双葉は学校はできそうにもないや」と、どんどんそういう気持ちになってしまう
378 んじゃないかと思います。大熊町なんかは学校が立ち上げれば人が来るということで、もう 5 月

379 に立ち上げたわけですね。ああいうことでシンボルになるわけですので、町のシンボルとして
380 の学校をとにかく早くスタートさせてから、また本格的にやってくべきではないかなと思います。
381 以上です。

382 【荒木 幸子 委員】

383 双葉中学校の荒木です。前回私は、集中型と話しました。私のイメージしてる集中型はたぶん
384 皆さんが思われてる形とは少し違うと思います。それぞれ例えばつくばであるとか、加須である
385 とか、そういう所である程度安定的な生活をなさっている方はもちろんそのままが良いと思うし、
386 そこに馴染んでいる子どもたちは、その学校で力を発揮してくれば良いと思います。私の思っ
387 いた集中型は、拠点型とでも言いましょうか、どこかに拠点をたつて、その拠点でとりあえず、
388 一刻も早く学校を立ち上げないと、双葉という名前の学校が無くなってしまう可能性が高いと思
389 いますたぶん、双葉町民の皆さん方にとっても、母校が無くなってしまうというのは、この上な
390 く寂しいことだと思います。先程、末永校長が申し上げたとおり、双葉で働いてくれる教員がい
391 なくなってしまうということもありますので、一刻も早く、拠点となるようなところに、学校を
392 立ち上げ、そこは拠点であって、拠点以外にあちらこちらで双葉のカラーのある支所機能のよう
393 な部分があればいいんじゃないかなと考えております。以上です。

394 【高野 重紘 部会長】

395 教育者たちの考えも分かりましたが、どなたか。

396 【田中 清一郎 委員】

397 商工会の田中です。優先順位というか、今、教育のほうでいろいろ、希望というかそういう話
398 あった。だから、仮の町の形成で、何を優先していくか。これ全てのものを満足するというのは、
399 私は不可能だと思う。だから、まず、役場がようやくいわきのほうに、県内に帰ってくるという
400 ことで、いわき市の植田の辺に来るということですから、役場機能を中心としたまちづくりとい
401 うのも1つ、考えるべきじゃないのかなと思ってます。というのは、今まで私は、いわきにいる
402 んですけども、やはり、3時間くらいかかって来るのね。ですから私、こういうような会議にも、
403 あくまでもここでやるんじゃなく、出前じゃなくても、少なくともいわきとか、郡山とか、そう
404 いうとこでやることによって、いろいろな周りの意識も高まってくるんじゃないのかと思ってる
405 んですが。全てこの重要会議なんか、社会福祉会議なんかここでやるような形になっちゃっ
406 てんでしょ。これは余談でしたけれども。だからそういうようなまちづくり、例えば30年とか、
407 そういうようなスパンで考えるべきじゃなく、当面、今我々がどういようなことをすれば、仮
408 の町が皆さんのいろいろな希望を達成しながら、つくり上げていけるか、というようにことだと
409 私は思ってますよ。ですから、そのようなもっと身近なスパンの中で、とりあえず目指してみ
410 ると、スタートしてみると。そういうことじゃないともう1年8ヵ月過ぎてるでしょ。そうする
411 とそれぞれの生活設計というのはそれぞれのところに落ち着いてるわけですよ。これをもう1度、
412 もう1回みんなをどこかに集めようとしているわけですよ。だからそれがもっと早く、みんな
413 仮の生活だったらいろいろなことをできたでしょうに、今、ほとんど落ち着いてるでしょ。子ど
414 も就学させてる。それから本人は就職して働いている。これを例えば、何処かにつくるにしても、
415 いろいろ無理があると思うんですよ。でも、少なくとも、町民の長年の懸案だった役場が県内に
416 帰ってくるというのは、相当な進歩だと思うんですよ。そういうような1つのきっかけに、我々

417 も1つの流れの中で、行動すべきじゃないかなとこう思っております。結論から言うと、いろいろ
418 それぞれの代表の人は、自分のことを優先したいと思いますけども、何を優先するかというの
419 をまずは議論して、そこからどんどん、より進めていかないと、私は結論が出ないんじゃないか
420 と思います。

421 【高野 重紘 部会長】

422 田中委員の意見も聞きましたけども。まず、いわきならいわき、役場を中心としたまちづくり
423 というのも考えていこうということでしょう。

424 【田中 清一郎 委員】

425 これが絶対的じゃないけども1つの案としてね。町の形成というのは、行政を中心としたまち
426 づくり、ということが理想だと私は思ってます。今、我々は、大変不便を感じてるというのは、
427 ここに役場機能があるために、いろいろな面でよその町から比べると、町民は大変不便を感じて
428 いるんじゃないかと思えますよ。ですから、せっかく役場が来たとすれば、役場の周辺に、全体
429 のものつくなくても、分散型で私はいいと思うんだけど、とりあえず、そういうものもつく
430 る。私は商工会やってんだけど、このデータを見ますと、実際に事業再開したのが30%に達し
431 てない。広野町は75%もの再開率があるんですよ。郡内全部を平均すると、大体30%。双葉は、
432 25、6%という、ほとんど再開はできないという。それは、どういうことかという、やっぱ
433 り消費者がいなくて。今、件数によっては、そういうものに対しては、ある程度事業再
434 開のバロメーターというかそういうの高いんですけども、本当の小売業の商売というのは、全然
435 再開できないでしょ。ということは、相当な人間がいなければ、店を開いても採算上がらないと
436 いうことです。だから、とにかく、1つの拠点をつくったら、そこに皆さん集まってくれるか
437 分かんなくてもだね、どんどんとそういうような流れをつくることも、やっぱり私は必要じゃな
438 いのかなというふうに思う。

439 【井上 六郎 委員】

440 井上です。私も、今回の意見書の中で大事なものは、その拠点を早く決めることだと思うんです。
441 いわき、白河、郡山、あとは、つくばというふうに決めて、そしてそこに拠点を置けば、どこを
442 集中型にするのか、分散型にするのか、当然出てくるわね。そうするとそこに何をつくればいい
443 のかと。子ども集めるためには、最初は学校でしょ。それから今度は、どれだけの人が、白河に
444 今住んでる人が、郡山に拠点があれば、私は郡山に行きたい、いや、いわきだと。また、動く可
445 能性はあるだろうと、こう思うんですね。また、もう1つは、もう落ち着いているという人たち
446 も大分いるということ。できるだけ、その理想的なものを追い求めるよりは、何か1つ、拠点を
447 決めて、そこで何をつくるんだということを話し合っていたほうが、手取り早いんじゃないか
448 と。だからいつも私思うんですが、なんで、直接、本題に入っていかなんだということなんです。
449 以上です。

450 【末永 幸弘 委員】

451 先程、教職員の異動の話しました。正確な数字を申し上げますと、平成23年度末に双葉郡から
452 管内に転出した教職員は70名です。70名を少し越えてるかと思えます。これらが他の地区に
453 異動いたしました。1番大きいのは、いわき地域に30名以上教職員が異動しています。もう、
454 住宅購入した、土地を購入したという。先生方は県費負担ですので、どこでも仕事できるという、

455 そうということがありまして、経済的にも恵まれておりますので、そういった自立というか、自分
456 のお子さん、子弟の教育も含めて、そういった所に流れてしまってる状況です。今年末もこれに
457 また拍車がかかって、先生方がいなくなってしまうという状況になってます。付け加えました。

458 【高野 重紘 部会長】

459 先程からも分散型のような話も、今、出てるんですが、そのデメリットとか、そういう問題も
460 あるわけなんです、前回の委員会で、仮の町を集中型と分散型で整備するメリット・デメリッ
461 トについて、委員からの書面で意見をいただきましたので、そのことについて、企画課長から報
462 告していただいて、今の機能とかそういう問題もはっきり言えば、その拠点が決まらないから、
463 どういう機能にしたらいいかも分からないというか、そういう問題もありますので、前回の部会
464 の集中型と分散型のメリット・デメリットの件を、企画課長から報告していただいて、それらに
465 ついても一緒に議論したほうがいいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

466 【事務局 駒田 義誌】

467 それではお手元に、横で委員限り、生活再建部会資料、と書かれてあるものについて、ご説明
468 をします。これは前回の部会で仮の町を集中型、分散型で整備するメリット・デメリットについ
469 て、事務局で1度整理したものをご紹介して、その際に、委員から改めてコメントを求めた方が
470 いいだろうと部会でなりましたので、それを紹介させていただいて、いくつかコメントを各委員
471 でいただきましたので、それを事務局のほうでまとめさせていただいたものになります。

472 1番上が、商工会の吉田委員のコメントになりますけども、集中型による整備と、メリット・
473 デメリットについて、メリットとしては、商業施設等の開業ができる、役場が1カ所になる、公
474 共施設もできる、町民のコミュニティができる、というメリット。デメリットとしては、受入自
475 治体の理解、どれだけの方が戻って生活するか、子どもを教育中の方々は今の教育環境を変え
476 たくないのではないかと、というお話。分散型のメリット・デメリットについては、買い物が便利
477 だ、大きな病院が近くにある、交通が便利だ、ということで、あと学校についても、近隣にお世
478 話になって、双葉の中の教育とは異なって、大勢の中、また新たな友達との刺激もあり、別世界
479 を見て成長していける、というメリット。デメリットとしては、役場機能が大変になる、町民同
480 士のコミュニティがうまくいかないのではないかと、と。学校の場合は、分散だと双葉という名前
481 が使えなくなる。また、現在、双葉勤務の先生方の職も問題となる、というご意見でした。

482 荒木委員からのコメントということで、学校ということで、集中型に整備することによって、
483 保護者同士の連携・助け合い・支え合いが可能となる。また、地域や学校等になじめない児童生
484 徒に手厚い指導ができる学校をつくることのできる、というような意見です。

485 あと、保護者代表の吉田委員からのコメントとしては、集中型のデメリットとして、時間ばか
486 りが過ぎていと、若い人が集まらないで、老人ばかりになってしまうのではないかと。分散型に
487 よる整備としては、現在の生活・仕事・学校を変えなくてもいいというのがあるのではないかと、
488 ということで。

489 あとは同じく保護者代表の大久保委員からのコメントとして、役場機能という観点からすると、
490 集中型のメリットとして、核となる場所ができる。また、分散型による整備のメリットとして、
491 分散して生活している人への対応が比較的容易となる。福祉施設の面では、集中型のメリットと
492 してはコミュニケーションの場所となり、お年寄りが安心できる、避難先での受入が飽和状態と

493 なっている状況において、選択肢が増える、ケアのための仕事が増える。一方でデメリットとして
494 では、スタッフの確保がデメリットではないのか。分散型につきましては、分散している家族の
495 そばに施設ができるというメリット。一方でデメリットとしては、スタッフの確保。また、学校
496 につきましては、若干重複がありますけども、子どもが集まることによって、保護者も集まると
497 というメリット。不登校の問題を抱えた生徒への解決への選択肢が増える。デメリットとしては、
498 現状の学校で安定している生徒は集まらない、将来的に生徒数の減少が考えられ、一時的な再開
499 になるのではないかと、というデメリット。分散型につきましては、デメリットは、場所の確保、
500 教師の確保が学校に関しては難しいのではないかと、というお話でした。

501 大久保委員につきましては、1番後ろに概念図という形で整理したものをいただいております。
502 集中型のほうがメリットのあるものと、分散型のほうが現状にあっているものがあるということ
503 で、こういった整理をしたらどうか、というご提案がありました。

504 あとは、次のページになりますけども、井上委員から、先程のお話にもありましたけども、場
505 所の選定がないとなかなか次の思案が浮かばない、というご意見。あと、高野部会長のほうから
506 は、個別に検討してこれから結論を得ればよいのではないかと、というご意見。

507 あと、渡邊副部会長のほうからは、集中型によるメリットとしては、やはり必要な施設・整備
508 を集中させることで経費も無駄なく使える、孤立せず、安心して過ごすことができる、というメ
509 リット。また、子どももその親も、若い世代が戻ってくるか分からない、働く場所が少ない、と
510 というデメリット。一方で、分散型になりますと、困ったときに相談の場が近くにないと不安が強
511 まるのではないかと、というご意見を、各委員からいただいております。それを事務局で整理をさ
512 せていただきました。以上です。

513 【高野 重紘 部会長】

514 説明が終わりました。何か質問、意見があれば。

515 【井上 六郎 委員】

516 1番やっぱり理想的なのは、集中型だと思います。しかし、それが集中型にしてしまうと、受
517 け入れた自治体との間に軋轢が起こるだろうというんで、その受入側の首長も、それは大分渋っ
518 ている。そこが大きなネックなんですよね。誰でも、集中型であれば、理想的なコミュニティを
519 つくることのできるわけですよ。それができないと。受け入れられないというところに問題があ
520 るわけだから、それならば、最初から、分散しておいて、どこに集めたらいいのかなど。軋轢の
521 かからない方法。最後には、限界町ということにならないようなまちづくりをつくっていかなく
522 ちゃいけないから、と思います。だから、その拠点が決まらないから、次の考えが浮かばないと
523 いうことなんです。以上です。

524 【高野 重紘 部会長】

525 井上委員の結論というのは、結局場所が決まらなさと、機能を考えてもダメだと、はっきり言
526 えばね。

527 【井上 六郎 委員】

528 場所さえ分かれば、次から次へと浮かんでくるのではないかと。

529 【高野 重紘 部会長】

530 こうしてみると一番解決すべきなのは、場所の選定だね。

531 【藤田 博司 委員】

532 今、井上委員からお話ありました、場所が1番だと思いますね。それでただ問題は、その必要
533 なのは空間線量と、気候風土、交通機関等々考えるのと、面積どのくらいにするのか。そのこと
534 も必要だと思うんですよ。それで、田中委員のほうからお話あったように、役場機能を中心にと
535 いうお話がありましたけれども、町というのは役場中心がいいんじゃないかと私も思います。そ
536 れで、その機能をきちんとある程度の面積と役場機能に移ることによって、あと学校なりあるい
537 は福祉関係ですかね。そういうようなものがあり、商工会なり、そういうものが入っていかなく
538 れば、町らしい形にはなっていないと私は思いますので、このあとからこういうような災害住
539 宅云々というようなことも見せていただきましたけれども、なかなか、その人その家庭によって
540 全部の考え方が違うと思いますよね。これどこがいいと思っても、違うほうがいいのかという方もい
541 らっしゃるし。ただ、ここの避難所におられる方をずっと私等も今はやりませんでしたけれども、
542 私等もボランティアということできずとやってたんですが、そのときに見て歩くとやはり、身体
543 の弱ってる方が大分いらっしゃるので、そういうような方が入れるようなそういう施設も必要で
544 すし、あとは仕事ができる、職場もですか、そういうような隣の声が聞こえるような所ではダメ
545 だという、そういうこともあろうと思いますけれど、そういうことも重要だと思います。私の考
546 えとしては、やはり分散型が、あくまでも分散型の考え方なんですけども、拠点になる、その場
547 所を、面積がどのくらいで、どこの場所だということをはじめに決めて、今度その話が相手の自
548 治体等の了承を得た中で、そうして今度いろいろな建物等は決めていけばいいんじゃないかとい
549 うふうに考えています。以上です。

550 【高野 重紘 部会長】

551 藤田委員の考えも分かるんですが、例えばですよ。今度、勿来、いわきに役場機能が行きます
552 よね。その前に、住宅とか学校という形になれば、それを自治体で受け入れてくれるのか、それ
553 が1番問題になってくると思うんですね。

554 【藤田 博司 委員】

555 私は受けてくれるか、くれないかというのは、来年の問題じゃないかと思うんですよ。何でそ
556 うなのかというと、私は好きこのんでこちらに逃げてきてるんじゃないんですよ。こういうよう
557 な自分等に置かれてる状況、その責任というのは国ですから。国なり東電なんです。私ども
558 が苦勞してる時に、こういうような場所で自分たちの仮の町をつくっていきたいんだと。こうい
559 うふうに言ったときには、国なり東電なりが、それをきちんとつくるだけの責任があろうと思
560 います。自分等の中で、こうしてくれないんじゃないか、ああしてくれないんじゃないかというよ
561 うな考えでは、私はまずいと思うんです。以上です。

562 【高野 重紘 部会長】

563 現在いわきは飽和状態です。そういうときに、そこに実際に役場機能も、当然役場職員もそこ
564 に住むわけですよ。そうするとその人たちの仮設住宅も今のところなかなか見つからない。い
565 わきの住宅事情というのはものすごい悪くて、他から来て仕事するのも、なかなか見つからな
566 いというのが実情のようです。だから、いわきを中心にしたという話も、それも良いと思いま
567 す。実際に私たち、山田、石熊については、もう帰れない。そうすると、私の考えとしては、分
568 散型で現在言われた役場を中心とした場所と、帰れない、あと、福島に帰らない、2つの人たち

569 の場所、これを関東圏に土地を求めてそこに双葉町という形では自治体受け入れないでしょうから、
570 双葉地区みたいな、1つの拠点をつくったらいかがかなというような考えも私は持っています。
571 特に今、言ったように、いわき地区については、気候もいいんですが、あそこは飽和状態で、病
572 院に行っても1日かかる。通勤に関しては2時間も3時間もかかる。あそこの地盤について、私、
573 建築やってたもんですから分かるんですが、あそこは陥没と、隆起とあとは断層、この問題があ
574 ります。私、この関東圏内というのは、これは私の考えですが、よく町長さん言ってた、人をつ
575 くるのにも他の人たちから招かれるような人物をつくりたい。自分たちが職業を見つけるんでな
576 くて、会社から来てくださいと言われるような人間をつくりたいという話も私聞いてましたので、
577 大学に行くにも、関東圏内であれば、経費もかかりませんので、私としては、関東圏、福島県外
578 にも1つ考えたいというのは、若い子どもたち、若い奥様方というか、若い人たちは、子どもた
579 ちを放射能のある所に連れて行きたくないという方がいっぱいいるんですよ。だから私が言うの
580 は、山田、石熊地区は帰れません。その他、帰りたくないという人たちいっぱいいるんですよ。
581 そういう人たちの拠点も1つつくったらいかがかなと。だから3カ所なんていろいろお話出まし
582 たけど、役場を中心にしたいわき地区と、郡山か白河か福島か分かりませんが、そういう3地点
583 くらいを考えて、それに対しての機能とかそういうのを肉付けしていったらいかがかなと。視点
584 をある程度決めないと、いつまで経っても、考え方決められないと思うんですね。だからある程
585 度のどこどこというのは言わないんですが、いわき地区と郡山、福島あたり、あと関東圏内とい
586 う私はそういう3カ所くらい。あの実際に、山田地区は年間放射線量が相当高い、150年から180
587 年くらい帰れないというふうに考えてますので、そうしますと、もう帰れる所ないわけですから、
588 新しい拠点としては、もう関東地区に私はそういうのを思ってますし、私の知り合いの方も横浜
589 にいる方ですが、福島県には帰りたくない、放射能があるから。関東地区であれば帰りたいと
590 いう人もいます。だから3カ所くらいに分散型としても考えて、それで機能とか何かを考えたら
591 なというふうに思います。

592 【田中 清一郎 委員】

593 部会長だから、あんまり自分の意見を出して誘導しないで、これだけのみんなそれぞれの考え
594 を持った人がいるんで、まずはあのもう少し慎重にやっていただきたいと思います。今の議論は、
595 分散型か集中型かということで、メリット・デメリット、こういうのあったでしょ。これ1つま
596 とめていただいたらどうかなと思ってるんですけども、どうですか。

597 【三井所 清典 委員】

598 もう少し、皆さんご意見おっしゃったほうがよろしいんじゃないかと。

599 【中村 希雄 委員】

600 役場の方に意見を聞きたいですね。大変なのは役場の職員の方なんです。宿舎も確保され
601 てないんだから。全然。町長に聞いたら、「県に頼んで」と言うけど、職員の方に聞いたら、「何
602 にもない」と言われてますから、聞いてみて。

603 【渡邊 ゆかり 副部会長】

604 話が飛んでしましますが、資料5の3ページに載っている災害公営住宅の写真を見て、とても
605 いいなと思ったのが、住宅はアパートがただ建ってるだけのイメージだったんですけど、下にデ
606 イサービスがあったり、交流の公民館があったり、障害者が働くスペースがあるということです。

607 皆さんたぶん、1人でどこかに避難されてる方はいらっしゃらないと思うんですよね。誰か親戚
608 の人を頼って、誰か友達がいるから、みんなが行くからそこに行くと、たぶん考えてる方が多く
609 て、本当に1人1人で、例えば、何んとか県に1人で避難してますという人はあまりいないと思
610 うんですけど、そういうのを考えると、こういう住宅があって、下にみんなの交流スペースがあ
611 る、人と交流があるというのはすごくいいなと思いました。集まる場所がある、この避難所にし
612 ても、仮設住宅にしても、集まる場所がある所というのは本当に人がいて、いわきの仮設では、
613 社協さんが運営しているひだまりがあるのでここに人が集まる、Vチェーンがあって、Vチェー
614 ンに人が集まる。人が集まる場所をつくるという意味でこういう住宅だったら、人は集まるのか
615 なというふうに思いました。ここにクリニックのような小さな病院あったりとか、あとデイサー
616 ビスだったり、施設なんかも必要だとは思いますが、そういう1つの場所に何かが集まると
617 いうのはすごく良いことだなと、思いました。

618 【高野 重紘 部会長】

619 大橋委員さっきからまだ意見言っていないのでよろしくをお願いします。

620 【大橋 庸一 委員】

621 私は、先程も言いましたけども、自立志向のある方は定着がかなり進んでいるし、そういう希
622 望持っている人もかなりいるように聞いてます。ここで言う仮の町については、集中型ですと、
623 そこまで、さらに移動するとかというのは大変なものですから、どっちかという、分散型が現
624 実に合ってるんじゃないかという意見です。以上です。

625 【田中 清一郎 委員】

626 これまで私も何回か委員会出てますけども、1年9ヵ月になろうとしてるんですね。もう急が
627 なくちゃいけないと思ってるんですよ。今日のこの会議も相当な時間費やしているけど、またこ
628 れで結論が出ないようだと、こういう傾向がずっと続くと、いつまで経っても結論出なくて。た
629 だ委員会だけは空回りしてるという、こういうような状態になると思うよ。皆さんから意見を聞
630 いたことは大変参考になると思うんですけども、現実、集中型も7000人を満足できるような場
631 所とかなんかと、役場で言って、町長が引き受けたと言いますか。現状認識をもっと考えながら
632 やれば、自ずとやはりどっち側という、そういうほうが私、結論早いと思うんです。もちろ
633 ん、集中型というのは理想ですよ。だけどそういう商店の人たちが、実際に店を開くというこ
634 で前向きに考えますか。今、広野は、5,000人の人口で帰町宣言しましたね。実際1割くらいし
635 か生活してないんですよ。でも生活の条件揃ってるんですよ。インフラもライフラインも、全て
636 揃ってるんですよ。今、小学校と中学校の校長先生から話あったけども、実際に子どもは、その
637 避難地からバスで小学校、中学校に移動させているという、こういうような状態というのは、今
638 の住んでる所が広野よりも利便性が高いということなんですよ。なかなかそれだけの条件揃えて
639 も町民が戻らないという現実をもう少し直視しなくちゃいけないと思うんだよ、我々もね。以上
640 です。

641 【三井所 清典 委員】

642 私は、7000人の集中型を主張しているとか、そういうことでは全くなくて、今日のような話
643 で皆さんの気持ちが、ずいぶんと理解が深まるというか。集中型といっても、拠点型ではないか
644 と言葉で先生が言い直されたところがあって、拠点といえ、役場がある所を拠点にするのがい

645 いんじゃないかなというような話が出てきて、そういう話を、1度町民の方々に戻すと、「そうい
646 うのいいんじゃないかな」というふうになるかもしれないなと思ったり。それから、分散型、大
647 橋委員がおっしゃったんだけど、分散型でも、どこか大きな分散の固まりがあるかもしれないの
648 で、その分散型とおっしゃると、拠点型で幾つかあるというのと、どこが違うのかなと、頭悩
649 ませてました。そういうことを絵に書いてみると、比較的似てるのかなと思ったり、合意ができ
650 るかもしれないと思ったりしたんですね。1点に集中するのではなくて、拠点ではいくつか分か
651 れてるという話と、分散型なんだけど、たぶんどっかには役場がなくちゃいけないし、ある意味
652 での拠点性を持っていなくちゃいけないから、そうすると、比較的近づいて来るような気もした
653 んですね。高野部会長がおっしゃってるように、戻れないから戻らないと決心した人もいるんだ
654 ということも、これも堅い決意のような気もするんですね。そういうこともあって、いろいろ
655 な思いの方々がおいでになるのを、どういうふうにまちづくり、町の形として、物理的にどうい
656 うふうに集めるか、それから精神的にどういうふうに集まってるかという、そういう2つの重な
657 りを見つけていくというこうとになるかなと思いがながら聞いてました。もうすぐ、町民の皆さん
658 からの意見も出てきますし、こういうふうに一方で会議が進んでいけば、出てきたときにすごく
659 まとめやすい状態になるかなと思っております。アンケートも年末から動き始めて、正月を挟ん
660 で出てくるとすると、併せて、ある方向を見だしていくことができるんじゃないかなと。今、
661 こういう話をするのはものすごく重要で、まとめていく方向にとっては、非常に有効なんじゃ
662 ないかと思ってまして、今日結論を出すということではないかもしれないけど、こんな議論が出
663 ました、という確認を皆さんがしてれば、それでいいかなと思ったんですね。

664 【荒木 幸子 委員】

665 今、三井所先生のお話をお聞きして、その前から思ってたんですが、大久保委員からのコメン
666 トというこの図が、非常に良い図だなと思っております。メリット・デメリットについて、委員
667 からのコメントの3ページに、その役場機能、福祉施設、小・中学校の再開、コミュニティセン
668 ターの整備等々、これが拠点地となるどころかと思えます。そして、そこから枝分かれするよう
669 に、支所機能、コミュニティ機能を持った、3カ所くらいのサブ拠点のようなものが連携して、
670 それぞれが全部結ばれているこの形は、非常に皆さんの意見がまとまっている良い図だな、とい
671 うふうに思いました。以上です。

672 【三井所 清典 委員】

673 それで、渡邊ゆかり副部長がおっしゃったような施設は、それぞれ全部にあるんですね。住
674 まいと一体となっているようなものというか、必要な利便性というようなものが近くにあるとい
675 うのは、たぶん全部に必要だというふうに考えていいのではないかなと思いました。

676 【末永 幸弘 委員】

677 私、中村委員がおっしゃったことと同感です。私も神社は是非、つくったほうが良いと思いま
678 す。私は仏教も、お寺もいろいろなんですけど、人生の中で、節目節目でお世話になってます。
679 七五三来たら連れて行きましたし、心の拠り所になると思えます。大賛成です。以上です。

680 【三井所 清典 委員】

681 広島の場合でいうと、広島に原爆のあとで、基督教の教会が1つできたんですね。これ
682 は基督教の宗派はまったく無関係で、キリストが飾ってあるだけで、カトリックも新教のプ

683 ロテスタントの人も、それからいろいろな小さな宗派の人も、とにかくそこへ来てお参りすると
684 いう、そういう施設でした。そういうのを戦後に、原爆のあとで、小さな教会をたくさんつくる
685 のは難しいんだけど、そこに行けば、とにかくいろいろなお祈りができるということで。私、三
686 春町で、225年ぶりに本堂をつくるという檀家さんたちの動きをサポートしたことがあって、そ
687 のお寺さんに今度三春町に引越して来ている、仮設に住んでおられる方々の法事なんかを三春町
688 のお寺さんが、いろいろな宗派が連携して、法事なんかをやっていただけるように、早く相談を
689 して、仮設に住んでる人に伝えたらいいんじゃないかねと提案したことがあってですね。それか
690 ら、南会津町のある神社に行ったら社務所は2つに分かれてるんですけども、本殿は1つあって、
691 右のほうと左のほうでそれぞれの神様が奉ってある。鈴を鳴らしたり、本殿は1つ。ただ、お参
692 りする方向が、方面が少しずれているという、2つの神社が一緒になっているのもありました。
693 いろいろなことを考えていくと、とにかくイベント、祭り事をやるのが人の心をつなげていく
694 ことですから、楽しい祭り事を含めて、やっぱりそういう宗教施設はあるんじゃないかなという
695 ふうに思いますよね。行政があんまり口を出してはいけないということになってるんですけども、
696 これは住民の皆さんの希望で実現していくような方法をとっていけばいいんじゃないかなと思
697 います。

698 **【高野 重紘 部会長】**

699 先程、田中委員から言われたことは何時までも、この委員会で話あっても、結論がでないと言
700 間が無いというか、皆さん双葉町から離れる人が多いと思います。それで、例というか、そうい
701 う場所を、3カ所くらい限定はするわけではないんですが、例をつくって考えないと、いつまで
702 経っても委員会でやっても結論はでないとは私は思うんですが。どうでしょう。

703 **【中村 希雄 委員】**

704 これは3月に我々の話し合ったのをまとめていただいて、それを議会と町長で協議して決める
705 わけであって、このスケジュールに則れば、ここで仮に結論を出しても意味がないんだと思うん
706 ですが。

707 **【高野 重紘 部会長】**

708 どこかこういう例を考えないと、進展しないと思います。

709 **【三井所 清典 委員】**

710 今日の話は、拠点をつくる、例えば、どこかという場所のイメージが挙がったり、郡山とか
711 白河とかという話も挙がったりして、私はその程度で、この部会といましようか、当面はやっ
712 ていかないと、まだ意見をおっしゃっていない町民もおいでになりますし、アンケートも控えて
713 ますし、アンケートでほとんどの方の意見を聞くことにたぶんなるんだと思いますので、そうい
714 うのを帰る際には何が大切かということで、これだけ議論してれば、アンケートの結果を理解し
715 やすいと思うんですね。ですから、とにかく、検討は深めるけど、場所を具体的にそこを否定す
716 るような話も出てきたりして、回復不可能になる可能性も出てくるものですから、その決定的な
717 話をこの部会とか委員会で早めに出すのは控えたほうがいいかなというふうには思います。

718 **【鶴沼 友恵 委員】**

719 今日の話って、結局は前回に引き続いて、分散型にするのか集中型にするのかというのがメイ
720 ンテーマだと思うんですね。それを考えると私は前から思ってたイメージと近いイメージという

721 のが、大久保委員のこのイメージ。というのは、現実的にもやりやすい方向ですよ。今、当然
722 ながら、本体機能が今後いわきに行きますけども、加須にも支所があり、つくばにも支所がある
723 という形なので、これが1番つくりやすいし、それぞれイメージもやりやすいんですよ。支所
724 機能を何個つくるかではなくて、何人以上集まったとか、そういう基準があれば良いと思うんで
725 す。それで、本体機能においても、当然ここに集まる人口というのは多いのは当然ですし、役場
726 職員さんやら、社協の方やら、学校の職員さんやらいるので、当然ながら、余計な被爆をしてい
727 た私たちに関して言えば、国の基準でいいのかどうかというのは議論が分かりますが、まちづく
728 り委員会独自とか、町独自で、放射線量とか、汚染の状態の基準はある程度ざっくりでいいんで
729 決めてしまうと、大分楽に決めやすいのではないかと。場所を今、気候も当然ありますけど、い
730 やいわきだ、いや郡山だというと、いや県外だって、それは絶対にまとまらない話なので、基準
731 でやってしまえば、この辺で、こういう基準にしたいんだけど、皆さんどの辺がいいと思います
732 かというふうにアンケート集めるというのも1つの手かなとも思うんですが。

733 【高野 重紘 部会長】

734 その他、意見ありますか。

735 【田中 清一郎 委員】

736 基準というのは、既にそれを解決済みというところから始めないと、また最初のところからい
737 くど、またこの議論が、スタートラインに戻る。私が言ってるのは、全てをクリアした中で、分
738 散型とか集中型というのを議論したらいいんじゃないかというのを言ってるんで、当然、私はそ
739 ういうのを満足した状態から進めると言ってるんですけど。

740 【三井所 清典 委員】

741 鵜沼委員の気持ちも本当によく分かるんですが、こないだ講演をしていただいた話もあるし、
742 県や国の話もあるし、まだ測量、計測が細かく測られつつあるような状況だし、先生も小学校の
743 土とかいろいろな土、持ち帰られて今調査中だったりするし、基準をそう簡単に我々が決めきれ
744 るとは思えないですよ。だから、ある幅で考えながらいけばいいかなと。

745 【鵜沼 友恵 委員】

746 基準というより幅ですよ。

747 【三井所 清典 委員長】

748 いずれにしてもいろいろなところに幅がある検討をしていて、どこかで結論を導いていくよう
749 な形にすればいいかなと思いますかね。

750 【鵜沼 友恵 委員】

751 きっちり線引きをするんじゃなくて、例えば支所があったら、「30人とか20人以上集まっ
752 たところに支所1個おきましょう」とか、「数を限定しなかったら、ここは減ったからもう要ら
753 ないよね」、「ここ人数多いからもう少し増やすよね」とか、臨機応変にそれは移動ができるん
754 ですね。

755 【三井所 清典 委員】

756 ごめんなさい、今、私、放射線量のことだと。

757 【鵜沼 友恵 委員】

758 放射線量のことに関しては、それぞれ感覚があるので。「私そこは少しいやだから、こっち側

759 の支所がある別な所に行くわよ」とかというのは当然あるんですけども、だからといって、みんな心配してんのはそこなんですよね。だったらば、「少しだけこの位の間、町としては場所を探りたいですよ」とか。幅を持たせてある程度ざっくりでいいんで。そんな感じで探してみるのも1つの手なのかなと思うんです。ただ、議論して年数が変われば、いわき市だって空間線量は当然変わりますね。だから、汚染具合でまた移動するので、また変わってしまうので、大体このくらいのところがいいかなみたいなのがあれば、考えやすいのかなと思ったりもしたんですが。

765 【三井所 清典 委員】

766 今日、出していただいたこと、こういうふうに関になると言葉だけじゃなくですごくわかりやすいんですけども、これが、拠点が1つあって、同じような楕円が3つある。これが5つなのか、767 あるいは2つなのか、楕円にも大小がさらについてくるのか、というような話が、たぶん今、何768 人以上集まったら、支所機能が持てるんだらうというふうに、検討していくことになっていく769 でしょうね。おっしゃるとおりだと思いますけど。そこらあたりを代表する概念というか考え方770 として、この図がある。だからこれ、数がこれは3つとか4つということではないというふう771 に理解しておけばいいんじゃないかなというふうに思います。

773

774 (2) その他

775

776 3. その他

777

778 4. 閉 会

779 【高野 重紘 部会長】

780 それでは、時間となりましたので、次の委員会もありますので、ここで本日の部会の議事を終781 了したいと思います。他に何かありますでしょうか。では、特段の意見が無ければ、本日の生活782 再建部会を終了させていただきます。議事進行にご協力いただきありがとうございました。

783

784

785

以上

786

787

第2回生活再建部会座席表

(敬称略)

渡邊 高野
ゆかり 重紘



1 日時 平成24年11月26日(月)

13:00~14:45

2 場所 双葉町埼玉支所 4階家庭科室

田中 清一郎
大橋 庸一
井上 六郎
末永 幸弘
荒木 幸子
山下 正夫
大沼 武

三井所 清典	駒田
藤田 博司	事務局
	吉野
	松橋
中村 希雄	
鶴沼 友恵	事務局
井上 一芳	
高野 憲一	
竹本 良一	